


# 人と人との「つながり力」が育てる すこやか南っ子

**活動の名称** 家庭健康会議「わが家のすこやか会議」

**団体等の名称** 高松市立太田南小学校

**地域安全チーム** STみなみのキョウカ-南まもる

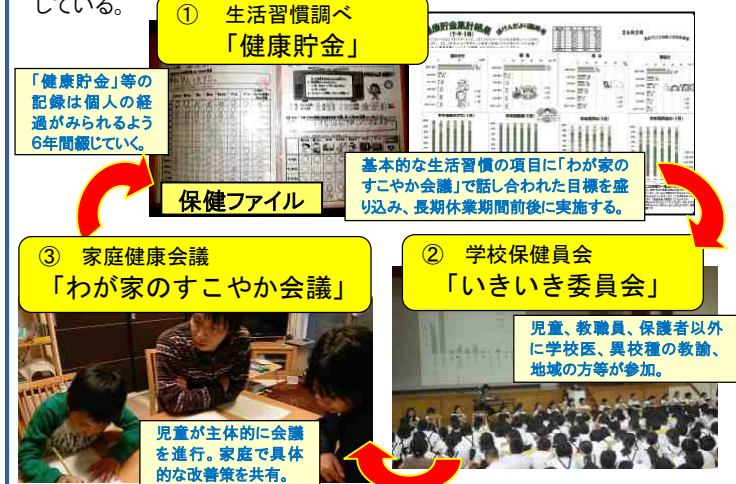


- 活動に含まれる（連携している）団体等**
- 幼稚園 ■ 保育所 ■ 小学校 ■ 中学校 □ 高等学校 □ 中等教育学校 ■ 特別支援学校
  - 児童館 ■ 公民館 □ 図書館 ■ PTA □ 子育て・教育支援団体、NPO ■ 企業・事業所
  - 病院・保健所 ■ 早寝早起き朝ごはん運動・家庭教育支援に関する実行委員会・協議会
  - 行政（教育委員会） ■ 行政（保健・福祉部局） □ 行政（その他の部局）
  - その他（ 地域コミュニティー協議会・高松南警察署 ）

## 活動の概要

◆ **活動の目的・趣旨**（全校児童数：1005名 学級数：32学級）  
 H22年度当時は、欠席・遅刻者数や交通事故、校内でのけがの発生数が多い状況があった。そこで、本校が創出している次代に必要な教育課程「生命の教育」のカリキュラムに基づいて、「健康貯金」→「いきいき委員会」→「わが家のすこやか会議」のサイクルを駆動させ、学校・家庭・地域の「つながり力」の強化を目指し、本取り組みを始めた。

◆ **主な活動内容**  
 年3回実施している生活習慣調べ「健康貯金」の実態からアセスメント、その結果や課題を学校保健委員会「いきいき委員会」で提示している。学校医等からの指導をもとに、家庭健康会議「わが家のすこやか会議」で、さらに具体的な課題改善策を話し合い、実践化へとつなげる。これをPDCAサイクル化して学校・家庭・地域が協働した取り組みとする。これらの活動の記録については各自の「保健ファイル」に綴じ、適時活用している。



① **生活習慣調べ「健康貯金」**  
 「健康貯金」等の記録は個人の経過がみられるよう6年間綴じていく。  
 保健ファイル

② **学校保健委員会「いきいき委員会」**  
 児童、教職員、保護者以外に学校医、異校種の教諭、地域の方等が参加。  
 児童が主体的に会議を進行。家庭で具体的な改善策を共有。

③ **家庭健康会議「わが家のすこやか会議」**  
 基本的な生活習慣の項目に「わが家のすこやか会議」で話し合われた目標を盛り込み、長期休業期間前後に実施する。

太田南小学校 学校教育目標  
 人間性豊かで 心身ともに健康で 実践力のある たくましい子どもを育てる

たくましく考え たくましく判断し たくましく行動（表現）する子どもの育成  
 ～どのような状況でも生き抜く力をもった子どもの育成～

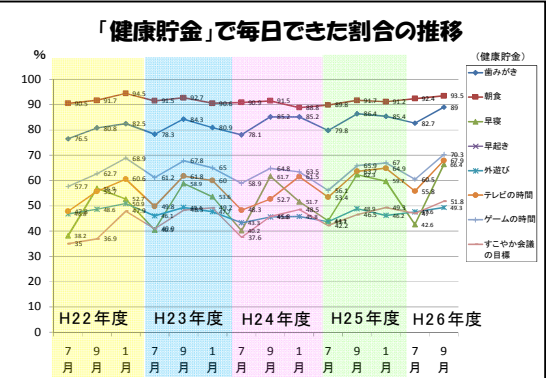
社会貢献	各教科等	協働	自立		
			低学年	中学年	高学年
社会	社会的事象に関する基礎的・基本的な知識・概念や技能を確実に習得させ、それらを活用する力や課題を探究する力。	相手の話を最後まで真剣に聴くことができる。	相手の話を自分の考えと同じとらえるや違うところを考へながら聴くことができる。	相手の話を自分の考えと異なるともに、書き出した内容から疑問に思ったことを書き加えて自分の意見とすることができる。	相手の話を自分の考えと異なるともに、書き出した内容から疑問に思ったことを書き加えて自分の意見とすることができる。
理科	科学的に調べられる能力や態度、科学的な見方や考え方を、学んだことを実生活で活用する力、論理的な思考力。	自分の考えをしっかりと書き出すことができる。	自分の考えをしっかりと書き出すことができる。	自分の考えをしっかりと書き出すことができる。	自分の考えをしっかりと書き出すことができる。
家庭	日常生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技能を確実に身に付け、それらを生活に活用する能力。家庭や生活における安全や環境とのかわりや大切にすることに気づき、互換の人や身近な環境とのかわりや大切にしようとする心。	自分の考えをしっかりと書き出すことができる。	自分の考えをしっかりと書き出すことができる。	自分の考えをしっかりと書き出すことができる。	自分の考えをしっかりと書き出すことができる。
心身	心と体を一体としてとらえ、適切な運動の経験と健康・安全について理解する力。適切な生活習慣や学習習慣を身に付け、解決する過程を通して、健康・安全の大切さに気付く力。	相手の話をしっかりと聴くことができる。	相手の話をしっかりと聴くことができる。	相手の話をしっかりと聴くことができる。	相手の話をしっかりと聴くことができる。
教育	自然のすばらしさや生命の尊さを感知し感性・実感のともなった感動のある体験活動を通して、生活に生かそうとする力。	相手の話をしっかりと聴くことができる。	相手の話をしっかりと聴くことができる。	相手の話をしっかりと聴くことができる。	相手の話をしっかりと聴くことができる。
特別活動	集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする態度。自分の生き方について考えを深め、自己を生かそうとする能力。	相手の話をしっかりと聴くことができる。	相手の話をしっかりと聴くことができる。	相手の話をしっかりと聴くことができる。	相手の話をしっかりと聴くことができる。
音楽	表現及び鑑賞の様々な活動を通して、音楽に感動したり美しいものや思い豊かなものに感動したりする心や豊かな情緒。	相手の話をしっかりと聴くことができる。	相手の話をしっかりと聴くことができる。	相手の話をしっかりと聴くことができる。	相手の話をしっかりと聴くことができる。
国語	言葉を通して的確に理解し、論理的に思考し表現する能力。互いの立場や考えを尊重して言葉で話し合う力。	相手の話をしっかりと聴くことができる。	相手の話をしっかりと聴くことができる。	相手の話をしっかりと聴くことができる。	相手の話をしっかりと聴くことができる。
算数	合理的・論理的に考えを準備する力。互いの異なるコミュニケーションを図るための数学的な思考力・判断力。	相手の話をしっかりと聴くことができる。	相手の話をしっかりと聴くことができる。	相手の話をしっかりと聴くことができる。	相手の話をしっかりと聴くことができる。
図工	表現や鑑賞の活動の積み重ねから、自らの感性を働かせ、造形的な活動活動の基礎的な能力を養育することによって育まれる豊かな情緒。	相手の話をしっかりと聴くことができる。	相手の話をしっかりと聴くことができる。	相手の話をしっかりと聴くことができる。	相手の話をしっかりと聴くことができる。
道徳	自分と人や環境、動物類とのかわりから、「ともに生きよう」とする実践的な心や態度。	相手の話をしっかりと聴くことができる。	相手の話をしっかりと聴くことができる。	相手の話をしっかりと聴くことができる。	相手の話をしっかりと聴くことができる。

協働（協同）学習の実現  
 「協同」・・・同じ目的に向かって似たような立場の人が問題について考え、解決していくこと。  
 ○ ペア活動、グループ活動  
 「協働」・・・同じ目的に向かって違う立場の人が問題について考え解決していくこと。  
 ○ 異学年交流（異学年徒、縦割り班活動）  
 ○ 学校・地域・家庭で連携した STみなみの活動

生命の教育 6つの観点 地域安全チーム STみなみの実践

- 自然に学ぶ：絶滅危惧種、大規模災害等のメカニズムに関する科学的な知識の習得
- 人との関わりから学ぶ：被害者の困りやよさを理解できる学習
- 災害対応に学ぶ：避難、救助、被害軽減、災害復旧等に関する知識の習得
- 社会に学ぶ：防災意識を高めるための社会貢献活動の学習
- 過去の災害から学ぶ：過去の災害の事実を学ぶ
- 生命の教育の基礎となる「つながり力」を育てるための実践的な学習

## 活動の成果と今後の展望



- 「わが家のすこやか会議」実施率の向上 H22 88.6% ⇒ H26 94.7%
- 朝食の摂取率が高い割合で継続
- 早起きができるようになった児童の増加
- 欠席者数の減少 H24 2958人 ⇒ H25 2706人
- 保健室来室者数(けが)の減少 H24 4120人 ⇒ H25 3596人
- 生活習慣は、年間を通して改善されてきた。今後、家庭と協働した「わが家のすこやか会議」の実践から、各自の「保健ファイル」を有効活用できる方法を検討していきたい。
- 子どもを地域で育てるという意識が高まってきている中、今後も「つながり力」を深め、この教育文化を継続していきたい。